

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

### 【学校 目標】

○対話を通じた学び合いや「スクールESDくさつ」を推進し、一人ひとりの学ぶ力を引き出し、自ら学ぶたくましい子を育てる。

### 【現状と課題】

- 視点1 授業中に発言ができる子が多くなってきたが、学びが深まったり広がったりしにくい。
- 視点2 教師に指示された学習課題は懸命に頑張るが、自分で課題を見つけ学習に取り組む姿が少ない。
- 視点3 意見交流をするだけでなく、学び合い高め合う教職員集団を目指したい。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○New草津型アクティブラーニングを活用し、対話を通じ学び合う良さを感じられる授業づくりを進める。	・対話による学び合いの効果に関する校内研究アンケートを実施。「よくあてはまる」の回答率(5月と11月を比較し、+3ポイント以上。)		
【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○総合的な学習の時間の活動を充実させ、地域での体験活動を「スクールESDくさつ」へと発展させる。	・草津市「スクールESDくさつ」児童生徒アンケート「地域や社会をよくするために何をすべきかを考え、行動することがある」の強い肯定率43%以上(昨年度:37.5%)		
【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究やOJTを通して、指導技術の向上だけでなく、子どもを理解し支援する方法を共有し、思いを伝え合う子どもを育成するために教職員一丸となって取り組む。	・教職員アンケートを実施。「校内研究やOJTで学び合ったことを、自分の実践に活かした。」1(活かせなかった)～5(活かせた)の選択式解答で、教職員の平均値4以上。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月の校内研究全体会において、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。また、取組事項は学校だよりで保護者や地域に発信する。

・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については校内研究主任、視点2については総合主任、視点3についてはOJT推進リーダーが中心となって、組織的に実践につなげる。

・校内研究全体会やOJT研修の際に取組の状況等を共有し、5月・11月に実施する校内研究アンケートや、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策についてまとめ、10月の職員会議で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する中間評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。

### 今年度の取組の成果と課題

--